

内水試 News !

H21. 10. 19

かわら版 Contents

霞ヶ浦産天然アユの人工採卵
が終了しました。

冷水病フリーの河川をめざして！



内水試は、さる9月28日から10月14日にかけてアユの人工採卵作業を行い、合計590万粒の受精卵を得ました。この受精卵は、茨城県鹿嶋市にある(財)茨城県栽培漁業協会(茨城県栽培漁業センター)で、来春まで海水馴致飼育により稚魚養成されます。そして養成稚魚は、来春の県内河川放流用種苗として試験放流に用いられます。

霞ヶ浦北浦では平成4年から陸封型の生活史を持つアユの再生産が確認されており、冷水病に感染していないことも確認されています。そこで県は、河川放流用種苗として活用して県内河川でのアユ冷水病の発生を防ぐことを目指し、平成20年度から内水試にて霞ヶ浦産アユの親魚養成と人工採卵試験を開始し、今年2回目の採卵シーズンを迎えました。

今年度は4,5月に霞ヶ浦で採捕したアユ492尾と昨年度採卵しその後海水馴致した霞ヶ浦産アユ1,155尾を試験池に導入して養成をはじめ、このうちメス167尾から590万粒の採卵ができました。

これから約半年、元気に育ってくれることを祈っています。

お問い合わせ 茨城県内水面水産試験場増殖部 TEL 0299-55-0324(代)